

LOFTWORK inc.

ロジックモデル テンプレート

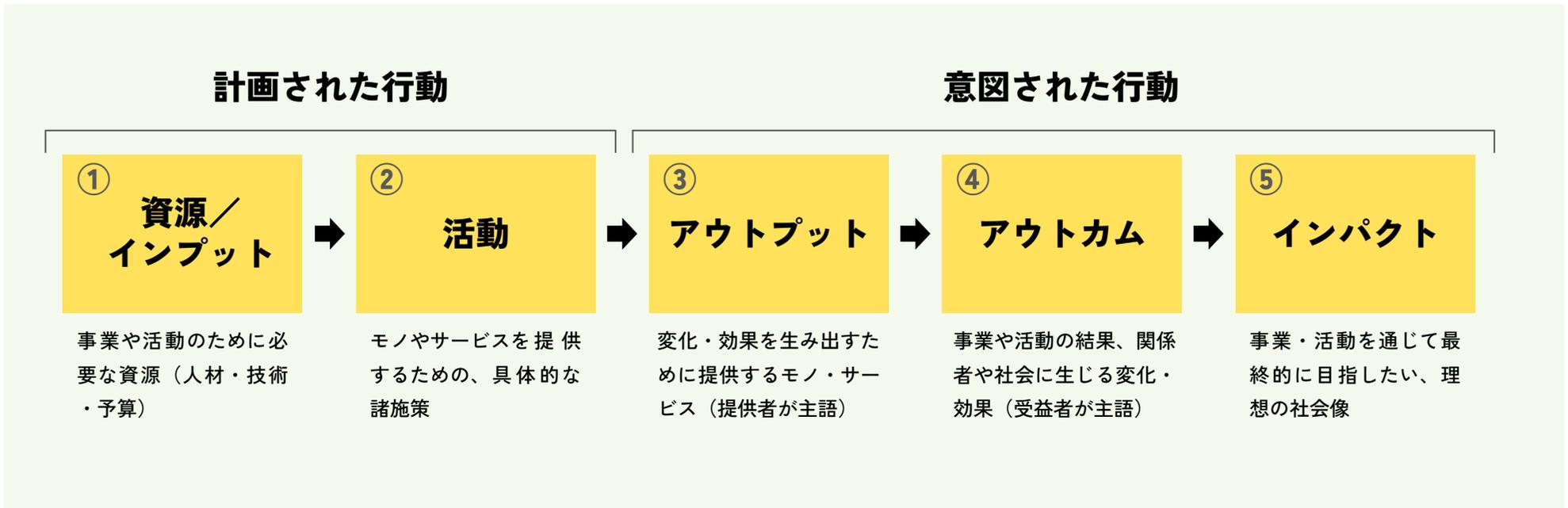
現状と理想をつなぐための戦略を可視化するツール

Tokyo — Loftwork Shibuya(HQ) / FabCafe / FabCafe MTRL / COOOP
Kyoto — Loftwork Kyoto / FabCafe Kyoto / MTRL Kyoto
Taiwan — Loftwork Taiwan
Hida — Hidakuma / FabCafe Hida
Nagoya — FabCafe Nagoya
FabCafe — Global 10 Branches

ロジックモデルについて

ロジックモデルとは、事業が定量・定性成果を上げるために必要な要素を体系的に図示化したもの。一般的なロジックモデルの図は事業の構成要素を矢印でつなげたツリー型で表現され、「インプット」「活動」「アウトプット」「アウトカム」「インパクト」の5つの要素で図示されます。

(参照：[日本財団「ロジックモデル作成ガイド」](#))



ロジックモデルの価値

成果の明確化

計画段階で必要なリソースの見積もりや、目標達成のための具体的なステップを計画することができます。

因果関係の可視化

施策と成果の関係を図式化するため、特定の施策がどのように最終的な成果につながるかを理解しやすくなります。

合意形成の効率化

取組みの検討、評価および説明の際のコミュニケーションコストを削減でき、合意形成がスムーズになります。

LOGIC MODEL MAP

事業や組織が最終的に目指す変化・効果（アウトカム）の実現に向けた事業の設計図

タイムライン



テンプレートの 使い方

オンラインで作成する場合

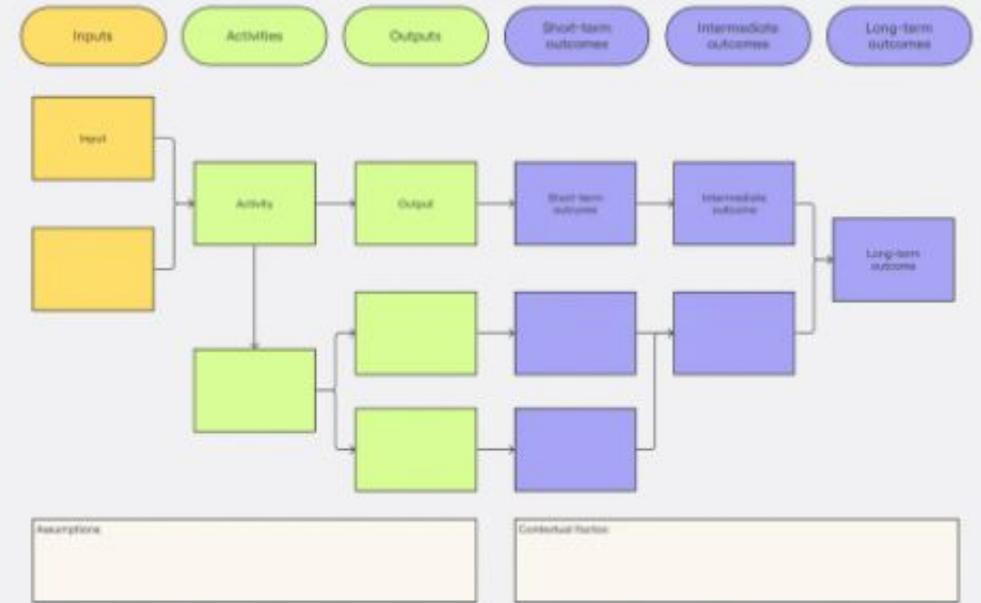
複数のメンバーで更新がしやすいオンラインツールでの作成がおすすめです。（[オンラインホワイトボード](#) [miro](#)、Figma、GoogleSlideなど）

miro 「ロジックモデル」 テンプレート

： <https://miro.com/ja/templates/logic-model>

オフラインで作成する場合

ワーク形式で作成することを想定し、ホワイトボードやA2以上の大きな模造紙上で、付箋を使ってアイデアを整理することをがおすすめします。



作成するうえでのポイント

- ・ なるものためにつくるのか、目的を意識する
- ・ 原則は、目指すインパクトから逆算するバックキャストिंगで進め、都度、リソースや活動と照らし合わせる
- ・ アウトカムは、自社ではなくステークホルダーや社会を主語として「誰の、どんな変化を起こしたいのか」を考える
- ・ 網羅的な視点で対話・整理し、ステークホルダーや必要な活動など、これまで見えていなかった要素を発見していく
- ・ ロジックモデルは、あくまで仮説。動的な成果物として、他者と繰り返し調整していくことが重要